

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（5月）

派遣先大学：マカオ大学

氏名：坂井穂花

5月は、初めての期末テスト、中国語独学開始、卒業式演奏、演奏会鑑賞などがありました。上旬に期末テストがあり、私の場合は偶然、一日で終わることができました。四月中に軽めの授業のテストは終わっていたため、5月に受けたのは2つのみでした。テストの形式は、3月にあった中間テストと同じだったので、心配する必要はなかったのですが、「Human Resources Planning and Staffing」という授業のテストが難しく、全く自信がありません。もうひとつの「Principles of Marketing」という授業は、教科書を入念に読めば、ある程度はできるテストなので、中間テストの反省を生かして、力を入れたつもりなので、少し期待ができます。まだ成績が出ていないのでわかりませんが…

五月に入るとすべての授業が終了して無くなってしまうので、唯一中国語に触れる機会だった授業も終わってしまいました。授業以外に自分で中国語を勉強していなかったというのもあり、テストが終わってからすることがなく、ひとりで街に出かけることが頻繁にあったので、これを機に挑戦してみようと思い、独学でマンダリンの中国語の勉強を始めることにしました。今まで、マカオでは英語しか使っておらず、店員さんに伝わらないこともありました。そのときは、モヤモヤする時が多かったのですが、独学でまずは日常で使える中国語を実際にお店で使ってみて、通じた時、そして店員さんの話していることが分かった時、すごくうれしくて、もっともっと中国語を勉強して話していきたいと思いました。この経験は、初めて海外に行ったときに英語が通じた時にも経験しました。実際に、マンダリンの中国語はマカオの公用語ではないのですが、中国本土から移住している人々などがいて、大体のお店では通じます。もちろん、店員さんが何を言っているのかわからないこともありますが、銀行でお金を払うなど、生活に関わる大事なこと以外はなるべく中国語で挑戦しています。わたしのマカオ留学の目標の一つである、中国語の上達を達成できるよう、毎日の積み重ねを大事にして、これからさらに精進していきたいと思います。11月にある、中国語検定に向けて独学を頑張ります。まだ、来学期の受ける授業は全く確定しておらず、中国語の授業は取れるかどうか

わからないので、独学を軸にしていきたいと思います。

吹奏楽団の活動の一環として、5月末に行われた卒業式に出ました。キャンパス内の広い体育館で行われ、マカオ大学はアメリカのスタイルと似ていて、アカデミックイヤーもアメリカの大学とほぼ同じで、卒業式のスタイルもほぼ同じ感じでした。服装一式を Academic dress と呼び、四角い帽子のことを Square academic cap/ graduate cap と呼ぶそうで、格式高くかっこいいなと思いました。少し懂れています…汗 学部によってラインの色が違って、ピンクは FAH (人文学部)、緑は FSS (社会科学部) などでした。人数がかなり多いため、二つの巨大パネルにテレビの生放送のように様子が映し出され、日本の卒業式とは雰囲気は全く違い、少しカジュアルな様子にとらえられました。6月から旅行がたくさん控えています。安全面には気を付けて楽しんでいきたいと思います。

